

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

薬剤師介入による大腿骨近位部骨折患者における骨粗鬆症治療状況の変化

2. 研究責任者(当院)

所属：薬剤科

氏名：鈴木 諒

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：

代表名：

3. 分担研究者

所属：薬剤科¹⁾、整形外科²⁾

氏名：岸田俊二²⁾、原田萌衣¹⁾、富田歩子¹⁾

4. 研究対象者

2022年4月1日～2022年11月30日、2023年4月1日～2023年11月30日の間に、
聖隷佐倉市民病院においてを大腿骨近位部骨折による入院加療を受けた方。

5. 研究の必要性

大腿骨近位部骨折後2年以内は対側の大腿骨近位部骨折などのリスクが特に高い期間とされている中で、術後早期より再骨折リスクを低減させるための骨粗鬆症治療は必要である。一方で骨粗鬆症治療が始まらなかった患者が一定数いるため、薬剤師の介入によって治療開始される患者がどの程度増加するのか調査し、今後の取り組みに繋げたい。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

個人が特定されない情報で研究を行うため、個人に対する影響はないと考えている。骨粗鬆症治療が開始される患者が増加すれば、再骨折の減少に寄与できる。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：4161

担当者氏名：鈴木 諒

対応時間：平日 8:30-17:00

共同研究において専用窓口がある場合